

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 網走福祉協会	代表者	理事長 古賀 敏朗	法人・ 事業所 の特徴	網走市向陽ヶ丘の住宅街にサテライト型の地域密着型介護老人福祉施設並びに小規模多機能居宅介護支援事業所を開設運営し、網走市の高齢者福祉、介護の推進、充実に貢献する事を目的とし、平成21年4月にオープンした。 ユニット型個室であり、入所定員18名（9名1ユニット×2） 小規模多機能登録定員、15名（通い定員：最大9名、泊まり利用定員：5名） 「地域密着」とはお年寄りがこれまで過ごしてきた地域での生活、人間関係が継続できること。「小規模」とは、お互いになじみの関係がもてる居場所であること。「多機能」とは、『通って』『泊まれて』『自宅に来てくれて』『将来的に住む』ことが出来ることが有機的につながっている事を指します。 介護の内容は、日常生活全般の介護看護、地域・社会活動への参加、ご家族への支援である。 介護の目標は、一人一人に向き合い、気持ちに寄り添うこと。1日の生活がスムーズに流れるように支援すること。家族や地域とのつながりが切れないよう支援し、誰でも立ち寄って頂ける施設環境を作っていききたい。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 向陽ヶ丘レインボーハイツ	管理者	田宮 匡史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他 (網走市社協)	合計
	1人	人	人	人	3人	1人	人	1人	人	6人

※事前の地域関わりシートを含む参加人数

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・今後も運営推進会議の皆さんの意見を取り入れつつ、職員一丸となって、より良い評価ができるように取り組んでいきます。	・今年度も運営推進会議の皆さんの意見を参考にしながら、事業所の自己評価に繋げることが出来ました。	・スタッフの皆さん全員でしっかり意見を出して取り組んでいることがわかりました。 ・反省点を踏まえ、今後どういった取り組みがしたいかなども出されていて良かったと思います。 ・改善計画についてもしっかりと出されていました。	今後も、皆さんの意見を参考にしながら事業所評価に取り組み、反省点や改善点を踏まえ、より良い施設運営ができるように取り組んでいきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	・今後も施設は行わず、他の方法で施設の防犯対策も考えていきます。	・前回の外部評価の際に、防犯的な意味で施設してよいのではとご意見があり、職員が手薄の時間帯夜間から早朝は施設を行う事にしました。また、物置を裏から表に置き、センサーライトを設置し、防犯対策としています。	・施設独特の臭いなどもあるが、空気清浄機なども使い対策されています。 ・利用者本人からは不潔な臭いなどもなく清潔を保ってくれています。 ・職員の方から毎回来た時に気持ちよく挨拶していただけるので、入りやすい雰囲気を感じます。	臭いやしつらえなどにも注意しつつ、今後も皆さんに居心地にいい空間づくりが出来るように、取り組んでいきます。
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続き、自治会など集まりには参加させていただき、他に地域でのイベント等があれば参加の機会を作っていきます。	なかなか地域でのイベントがなく、参加ができていない状況でしたが、自治会の集会場所として施設をご利用いただきました。	・自己評価では地域行事への参加は出来ていないとの評価でしたが、外出や外食など施設内でのレクリエーションが都度行えているようなので、施設に閉じ込めずに外出機会を設けているなどと思います。 ・大変な時に笑顔で対応してもらっています。 ・色々お願いしていることとしていただいております。 ・自治会の集会場所の貸し出しなど、他の地域ではしていないので、貴重な地域の繋がりだと思います。	自治会での場所の提供や地域行事があるようなら、できるだけ参加させていただき、少しでも地域との関わりの場を作っていきます。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	・今後も地域での行事等は出来るだけ参加し、馴染みの関係性づくりができるような体制を取っていきます。	・地域行事がない状況だったので、行事の参加は出来なかったが、施設内での行事や外出レクなどには取り組むことが出来ました。	・家族向けの広報誌などは作っていないのですか？ ・他の施設では家族とのグループLINEなどを作り行事予定や写真などを共有しているみたいなので、そういう事考えていけたらいいですね。 ・献立表や行事予定表などがあつたらいいと思います。	献立や行事の予定がわかる様な仕組みや、LINEや広報誌などを使った、ご家族や地域の方とのつながりの方法を今後考えていきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・2ヶ月に1回の会議を継続して行っていき。ご家族、地域住民の方、他関係機関の方々の参加を呼び掛けていきます。 ・今後、運営推進会議の案内などは可能な人にはメールでのお知らせも検討していきます。	・運営推進会議については2ヶ月に1回の法人合同で開催しました。可能な方にはメールで案内し、ご都合のつく方には参加いただけました。	・毎回、実績報告等、しっかりしていただいて、内容もわかりやすくいいと思います。 ・今はそういったケースがないのですが、何か困難ケースなどがあれば、検討などもしていけたらいいですね。	引き続き、2ヶ月に1回の運営推進会議の実施し、わかりやすい内容で発信していきます。また、もう少し参加人数が確保できるようお声がけもさせていただきます。
F. 事業所の防災・災害対策	・引き続き防災訓練を定期的に行っていき、ご家族や地域の方にも参加していただけるよう、お便りなどでお知らせしていきます。	・ご家族や地域の方の防災訓練参加は難しい状況でした。	・防災計画を作成しているのは知っているが、どういったものなのか、見たことがないので、どうなんでしょうか。 ・地域の防災訓練もしばらくされていないので、現状参加は出来ていないです。 ・災害時の福祉避難所にもなっているので、頼りになると思います。	防災計画については引き続き、皆さんが見やすい場所に置き、誰にでも確認してもらえるようにします。停電時の対応で暖房器具等の備蓄なども今後考えていきます。